

修学旅行のお風呂は女湯から男湯 が丸見え、クラスの男子のおちんち んランキングを作る女子たち

高校2年生の修学旅行で京都の古い旅館で泊まった時の思い出。女子グループの班は美香、花子、あかり、美咲の4人。男子たちは健、郁弥、俊樹、亮太の4人で、旅行中もゲームや馬鹿話に夢中だ。

夕食後、皆でお風呂に行くことになった。旅館の温泉は古風で、男女を隔てる仕切りが薄い木の壁だった。女湯に入った美香たちは、湯船に浸かりながらくつろいでいた。「あー、疲れたね。バス長かったよ」と花子がため息をつく。あかりが「そうだね。でもこの温泉、いい感じ！」と笑う。美咲は湯に体を沈め、「みんな、肌つるつるになるかも」と楽しそう。

ところが、美香が壁の方を見て目を丸くした。「え、ちょっと待って。あの壁、隙間があるよ。向こう側、見えちゃうんじゃない？」彼女たちは好奇心から近づいた。壁の隙間から、男湯の様子が丸見えだった。湯気が立ち込めているが、男子たちの裸体がはっきり見える。美香が小声で「マジで？ クラスの男子、みんな入ってるよ！」と興奮気味にささやく。

花子が目を細めて覗き、「本当だ。山田くんとか伊藤くん、斉藤くん、渡辺くんも。みんなおちんちん丸出しじゃん！」あかりが頬を赤らめながらも笑い、「ヤバい、こんなの初めて。おちんちんだらけ」と囁く。美咲が「しーっ、声出さないで。ねえねえ、みんなのサイズ、比べてみない？」と提案した。4人は顔を見合わせ、顔を真っ赤にしている。こうして、女子たちの「おちんちんランキング作り」が始まった。

